

第4学年社会科学学習指導案

日時 令和3年9月8日(水) 5校時

学校名 小金井市立緑小学校

対象 第4学年2組 36名

授業者 小倉 達也

1 単元名 ごみの処理と再利用

2 単元目標

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、都内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業の果たす役割を考え、表現することを通して、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度や、学習したことを基にごみの減量のために自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。

3 単元の評価規準

知識・技能	<p>① 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。</p> <p>② 調べたことを白地図や図表、文などにまとめ、廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解している。</p>
思考・判断・表現	<p>① 処理の仕組みや再利用、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見いだし、廃棄物の処理のための事業の様子について考え表現している。</p> <p>② 廃棄物を処理する仕組みや人々の協力関係と地域の良い生活環境を関連付け、廃棄物の処理のための事業の果たす役割を考えたり、学習したことを基に、ごみを減らすために、自分たちが協力できることを考えたり選択・判断したりして表現している。</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>① 廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>② 学習したことを基に地域の人々の健康や生活環境を守るための法やきまりの大切さに気付き、地域社会の一員として、廃棄物の減量や資源の再利用について自分たちにできることを考えようとしている。</p>

4. 本時の内容(9/12時間)

(1) 目標

ごみの減量のために、自分達で考えた緑小学校の課題の中から、どの課題を取り上げるのか選択し、協力を呼びかける広告の見出しについて、班の友達と話し合っ決めて。

(2) 展開

	○学習活動 「発問」 ・児童の反応	◇指導上の留意点 ◆評価
導入	<p>1. 前時までのふり返り 課題 ・ストローの袋が可燃ごみに入れられることがある。 ・給食のときにストローの袋を落とし、それに気が付かない人がいる。 ・雑紙が可燃ごみに捨てられていることがある。 ・燃やさないごみにプラスチック、ビニールごみが捨てられていることがある。等</p> <p>2. 本時の活動の例示</p> <p>3. 本時の課題の把握 「班でどの課題を解決したいのか話し合い、</p>	<p>◇前時の学習で出た緑小学校の課題を統合し、一つのスライドで見えるようにする。</p> <p>◇課題の一つを選択し、実際に見出しを例示してみせる。</p> <p>◇貼る場所（各教室）を限定し、それを見る人がどんな人なのか、どんな状況なのかをイメージできるようにする。</p>
展開	<p>4. 個人活動 Chromebook 上で自分が取り上げたい課題を箇条書きにする。</p> <p>5. グループ活動 (1) 班になり、各々が取り上げたい課題を確認し、班としてどの課題を取り上げるのか3つ～4つ決める。 (2) 班でそれぞれの課題に合った見出しを話し合い、決める。</p> <p>6. 全体共有 各班で採用された課題とその見出しを全体で共有する。</p>	<p>◇一つも書き出せない児童には個別に言葉掛けする。 ◆自分たちで考えた緑小学校の課題の中から、自分が解決したい課題を選択する。(chromebook)</p> <p>◇スクールタクトの共同編集モードを使用し、コメントでやりとりをして も良いことを伝える。</p> <p>◇よいと感じた見出しやその理由を発表させ、他の班のよさを自分の班の見出しに取り入れようとする意識を もたせる。</p>
まとめ	<p>7. ふり返り</p> <p>8. 次時の見通し</p>	<p>◇友達の見出しを見て改めて感じたごみの分別の大切さや自分の生活に生かしてみたいこと等を記述する。</p> <p>◇次時は内容を考えていくことを伝える。</p>

